

テーマ：『 校内、地域の環境を生かした総合的な学習、理科学習 』

横浜市立 馬場小学校

Tel. 045-571-7777

担 当 前 島 潤
者：



■実践内容：

馬場小学校では、各学年で校内、地域の環境を生かした学習に取り組みました。

- 1年生：プールで採集したヤゴの飼育
- 2年生：麻袋を利用したサツマイモの栽培、各種野菜の栽培
- 3年生：キャベツを植えて採集したモンシロチョウの飼育、オクラやダイズの栽培、環境エネルギー館の見学
- 4年生：ツルレイシ栽培によるグリーンカーテンづくり、環境エネルギー館の見学
- 5年生：学校田んぼでの稲作、アズキの栽培
- 6年生：地域の自然調査、ジャガイモの栽培、菊の栽培、学校ビオトープづくり
- 個別級：簡易田んぼでの稲作、各種野菜の栽培
- 全学年：花の栽培

■実践成果：

今年度も、全学年の児童が、校内の花壇、畑を利用したり、栽培の方法を工夫したりして、野菜や穀物、花の栽培に取り組むことができました。環境教育ばかりではなく、食教育にもつながる学習となったことは、大きな成果です。特に、学校田んぼは昨年度の6年生の取り組みよって4枚に拡張され、5年生児童一人ひとりの稲作への関わりが深まりました。来年度以降、栽培活動を、さらに継続、充実させていきたいと考えています。

また、6年生は、昨年の6年生の思いを引き継ぎ、学校ビオトープづくりに取り組みました。田んぼにつながる水辺のビオトープは完成し、裏庭に50mほどに渡って続く水辺と田んぼのゾーンができました。放流したメダカやドジョウが数を増すとともに、トンボやチョウなどの種類や数も増え、生物層が大変豊かになりました。学習の場として活用の他、自然とのふれ合いを求めて、休み時間にも児童が集まってきます。この水辺には、雨水を利用するために、地域の方がタンクを設置してくださいました。今、配管作業が続いていますが、このしくみは、自然と共生する手立てとして、本校の環境教育に生かすことができます。その他に、6年生は屋上ビオトープづくり、流水池ビオトープづくりにも取り組んでいます。こちらの完成も楽しみです。

■実践ポイント：

稲作やその他の栽培活動、田んぼの拡張、ビオトープづくりなど、児童の主体的な学習活動とするために、児童が学習の中で課題をもち、実現させてきました。今後も、この姿勢を大切にしていき、児童一人ひとりに持続可能な社会にするために生きてはたらく力をつけていけるよう努力していきたいと思えます。